

平成28年度 栃木県公立小中学校 事務研究大会



12月2日（金）、栃木県教育会館に於いて平成28年度栃木県公立小中学校事務研究大会が開催されました。今大会では「子どもたちの未来のために！私たちのアクティブ・アプローチ」をサブテーマに設定し、「学校経営参画」について考えました。

開会式では、県教委、県PTA連合会会長、県小学校長会会長、県連合教育会会長からご祝辞をいただきました。引き続き、平成28年度「とちぎ教育賞」を受賞された3名の方の表彰式が行われました。

休憩をはさみ、吉田副会長により今大会のねらいが説明されました。

次に南那須地区が「教育活動を支える学校事務を考えよう」～個々の資質向上をめざして～をテーマに、地区発表を行いました。南事研、那珂川町事務研、那須烏山市事務研の3節に分かれて、各地区の現状、研修の実践報告が行われました。



全体研究会Ⅰでは、今年度2つの研究大会で行われた分科会提案の概要と報告、そして研究カリキュラムの開発についての報告が行われました。

まず、栃事研研究部から、第48回関東地区学校事務研究大会長野大会第2分科会で提案した事務職員の専門性を活かした経営参画の在り方についての概要と、研究討議、指導助言、成果と課題等について報告がありました。

次に、第68回日本連合教育会研究大会栃木大会第10分科会提案の報告がされました。学校、家庭、地域社会と連携した活動とそこに果たす学校事務機能や共同実施の役割と、共同実施組織を活用した地域連携について、実践事例から効果や課題についての提案が説明されました。

続いて、栃事研ビジョン推進チームからは、“研修の体系化”に基づく「研修のカリキュラム」～事務職員研修のテキスト化について～と題し、研究大会当日に配布された『とちぎの研修プログラム』についての説明が行われました。



全体研究会Ⅱでは、「学校事務職員のキャリア・リデザイン」～縮小社会を生き抜く児童生徒の育成のために～と題し、名城大学大学院・学校づくり研究科教授 木岡一明氏より、ご講演いただきました。